



GSI Creos

Produce the Future 次代を創る

第91期 中間株主通信

2020年4月1日から2020年9月30日まで

INDEX

企業理念 P1 セグメント別概況 P4 トピックス P6 会社概要および株式の状況 P9
株主の皆さまへ P2 地域別売上高 P5 連結財務諸表 P7

株式会社GSIクレオス
証券コード 8101

■ 存在理念

私たちの存在意義は、新たな価値を発見し、社会的な価値へと結晶させることにあります。

私たちは、次代の生活品質を追求するビジネス・プロデューサーとして、独自にして公益にかなう最高水準のサービスを創造し、GSIクレオスと価値を共創するすべての当事者の幸せを実現します。

■ 経営理念

社員とともに GSIクレオスにとって、人的資本こそが企業価値を創造する源泉であります。

私たちは、GSIクレオスを共に創るプロフェッショナル人材の開発に投資をおしまず、社員一人ひとりが、発揮した能力と意欲に応じて喜びと誇りを享受しながら、企業価値の創造に参画できる経営を実行します。

株主とともに GSIクレオスにとって、株主は持続的な成長と発展の柱石であります。

私たちは、安定的に企業価値を高め続けることが、株主への最大の貢献であると考え、企業価値の増大に資する事業活動に専心し、株主に対するオープンかつインタラクティブな経営を実行します。

取引先とともに GSIクレオスにとって、取引先は共に成長するパートナーであります。

私たちは、最良のパートナーを求めるとともに、自らも選ばれるための要件を満たし続けて、市場合理性にもとづく対等な関係を保つことで、常に学習し高め合う創造的な経営を実行します。

市場とともに GSIクレオスにとって、市場とは、価値観を共有する生活者であります。

私たちは、私たちの確信する価値観にもとづいて、世界中から最高のリソースを見出し、挑戦的にビジネスを展開し、生活者の期待を創り、期待に応える経営を実行します。

地球環境のために GSIクレオスにとって、地球環境の保全は、生活の場に対する信実であります。

私たちは、私たちの推進する事業活動の一環として環境保全に取り組むことで、より多くの人や組織とともに地球環境保全活動へ参加する経営を実行します。

会社組織のために GSIクレオスにとって、会社組織は、個の感性と叡智を結集し、最大限に高め合う器であります。

私たちは、個人の役割と成果責任を明確にして権限を委譲し、自律する強い組織をつくることで、市場に直結した判断と迅速な決定を可能にし、環境の変化にダイナミックに適應する経営を実行します。



株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、第91期中間期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の営業を終了いたしましたので、ここに営業の概況と決算をご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月

代表取締役
社長執行役員

吉永直明

第91期中間期の業績

当中間期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により社会・経済活動が制限される状況が続き、企業収益が低迷するなど依然として厳しい状況にありました。また、海外では再び感染者が増加しており、未だ景気の先行きを予測しがたい状況が続いております。

こうした中、繊維原料や生地などの取引が低迷しましたが、医療・衛生消耗品などの新たな需要にきめ細かに対応することができました。また、ホビー関連商材は、巣ごもり需要の取り込みと海外市場拡大に向けた取り組みの強化により、売上が伸長しました。

この結果、当中間期の業績につきましては、売上高は、前年同期比683百万円、1.2%減収の55,958百万円となりましたが、売上総利益は、前年同期比1,419百万円、22.9%増益の7,617百万円となりました。また、営業利益は、

前年同期比1,687百万円、274.7%増益の2,301百万円、経常利益は、前年同期比1,670百万円、287.1%増益の2,252百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比597百万円、103.4%増益の1,176百万円となりました。

第91期中間期の業績

売上高	55,958百万円	前年同期比	△1.2%
営業利益	2,301百万円	前年同期比	274.7%
経常利益	2,252百万円	前年同期比	287.1%
親会社株主に帰属する中間純利益	1,176百万円	前年同期比	103.4%

中期経営計画（2018-2020）および通期の見通し

新型コロナウイルス感染症の影響により、わが国経済および事業環境が極めて不安定な状況にあることなどから、当社は、本年8月3日に中期経営計画（2018-2020）の最終年度（当期）の業績数値目標を、「第91期通期の見通し」欄の数値に変更いたしました。

同計画の基本方針や重点施策は変更せず、下半期におきましても、引き続き収益基盤の強化と財務体質

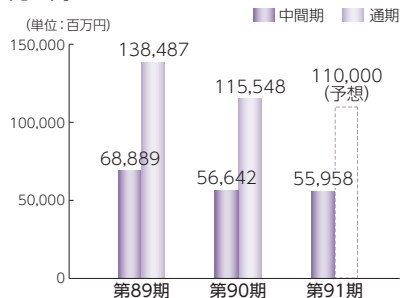
の改善を図るとともに、用途拡大が進む生分解性プラスチック関連の取引をはじめとする「環境関連事業」や当中間期の業績に貢献した「医療・健康関連事業」の育成に取り組んでまいります。

第91期通期の見通し

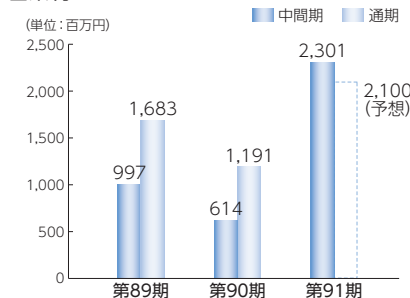
売上高	110,000百万円
営業利益	2,100百万円
経常利益	2,000百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,300百万円

業績の推移（連結）

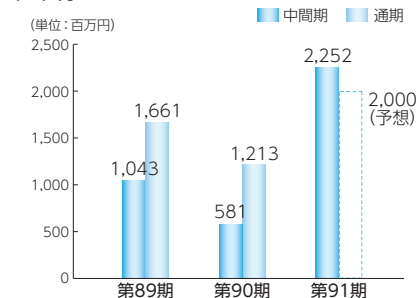
売上高



営業利益



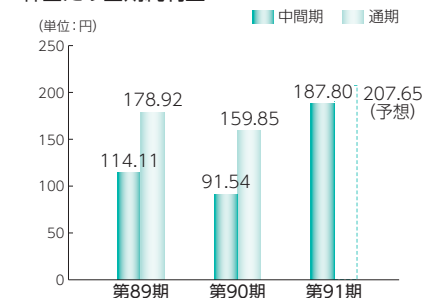
経常利益



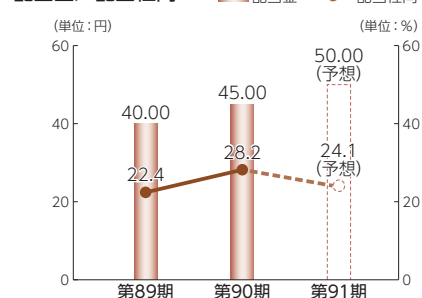
親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益



配当金／配当性向



セグメント別概況

繊維事業

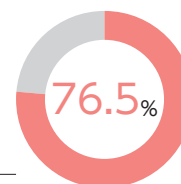
主要商品：

繊維原料、テキスタイル、
レッグ・インナー・
アウターウェア 他

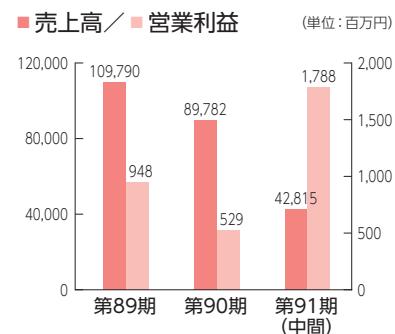


売上高	42,815百万円	
	前年同期比	△3.1%
営業利益	1,788百万円	
	前年同期比	631.6%

売上高構成比



- インナー用機能糸・生地の海外販売およびパンスト・タイツ用加工糸の取引が減少しました。
- 婦人ファンデーションの取引は堅調に推移しました。
- 欧米向けのアウター用生地、アウター製品のOEM・ODM取引および直営店での婦人服の販売は低調に推移しました。
- 新型コロナウイルス感染防止用の医療・衛生消耗品の取引を開始しました。



工業製品事業

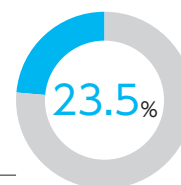
主要商品：

化学品、機械・材料、
ホビー・生活関連品 他

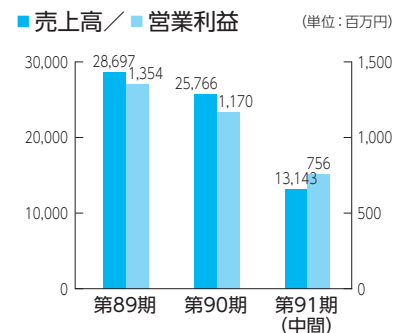


売上高	13,143百万円	
	前年同期比	5.7%
営業利益	756百万円	
	前年同期比	33.4%

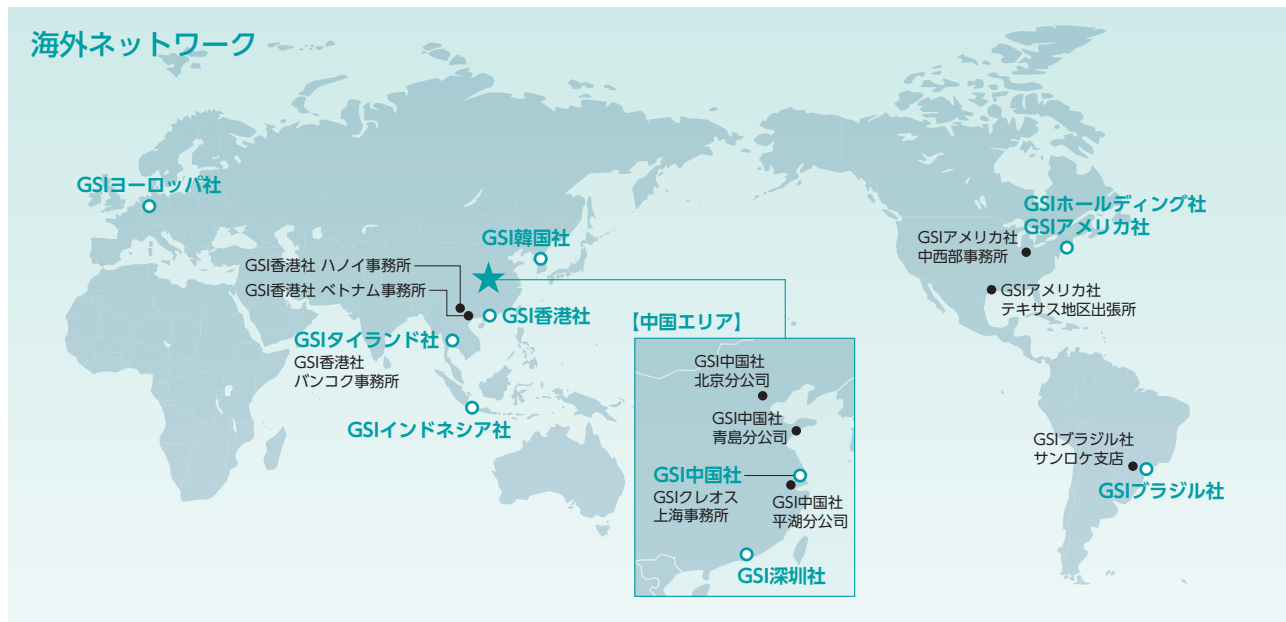
売上高構成比



- フィルム関連の取引が低調に推移しましたが、塗料原料の取引および米国における化学品の取引は増加しました。
- 「環境関連事業」の拡大のための取り組みの一つである、生分解性プラスチック関連の取引では、製品化と新用途向けの開発が進んでいます。
- 機械・機器の取引は減少しました。
- ホビー関連の取引は国内、海外向けともに大きく伸長しました。
- ナノテクノロジー事業は、カップ積層型カーボンナノチューブ「カルベール®」の特長を活かし、複合材や塗料などの分野において事業化を進めています。

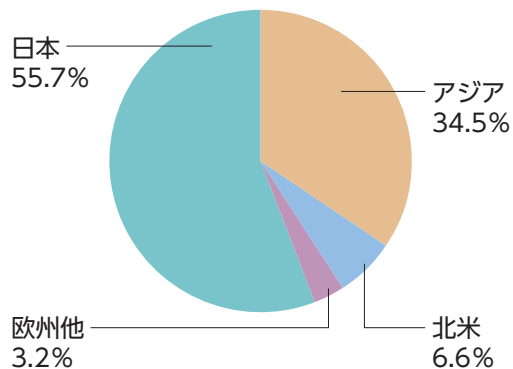


海外ネットワーク

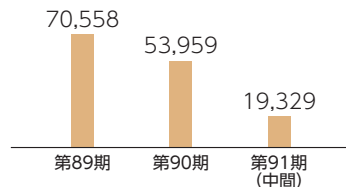


地域別売上高構成比

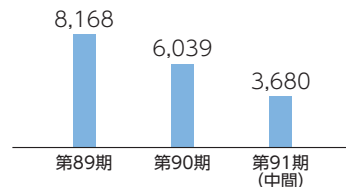
海外売上高比率 **44.3%**



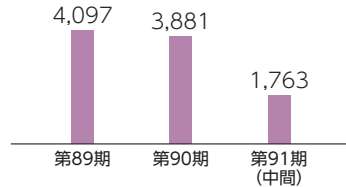
アジア (単位: 百万円)



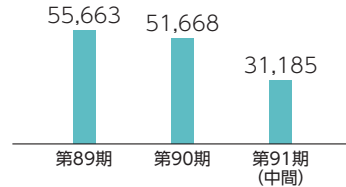
北米 (単位: 百万円)



欧州他 (単位: 百万円)



日本 (単位: 百万円)



■ SARS-CoV-2ウイルス等を99.9%不活性化するマスクを発売 ー新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためにー

当社は、本年8月に新型コロナウイルス感染症の原因となるSARS-CoV-2ウイルス等を99.9%不活性化する「Anti-virus mask（アンチウイルスマスク）」を発売しました。

マスクの生地に正電荷を帯電させる加工（スイス・Livinguard社のアンチウイルス技術）を施しているため、負電荷を帯びるウイルス等に正電荷が吸着し破壊します。また、30回洗ってもアンチウイルス効果・機能が持続することも特長です。

当社ECサイトや大手雑貨ストアなどで販売するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に、より一層貢献すべく、病院や医療関連企業への供給も進めております。

（注）マスクはウイルスによる感染を完全に防ぐものではありません。



本年8月に発売した「Anti-virus mask」

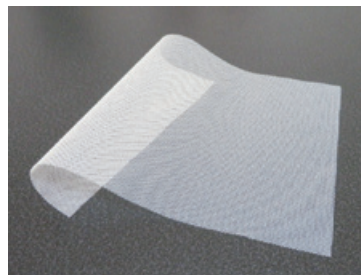
■ マタビー（生分解性プラスチック）の用途が拡大 ープラスチックごみによる環境汚染の改善に向けてー

当社が取り扱う生分解性プラスチック「マタビー」の用途が日本で拡大しております。

欧米では、マタビーは最も使用実績のある生分解性プラスチックで、様々な用途に使用されておりますが、これまで、日本では農業用マルチフィルム向けなどに用途が限られておりました。

当社は、マタビーの正規代理店となった2018年10月より日本での用途を広げており、当中間期におきましては、様々なパートナー企業とともに衣類用接着シートや野菜用パッケージなどを開発しました。接着シートにつきましては、株式会社デザートが展開する新ライン「RE: DESCENTE SEED」の接着資材として採用されるなど、実用化が進んでおります。

今後もマタビーの製品化と新用途向けの開発を進め、プラスチックごみによる環境汚染の改善に貢献してまいります。



提供：加工技術研究会
衣類用接着シート



「RE: DESCENTE SEED」製品

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期	当中間期	
	2020年3月31日現在	2020年9月30日現在	
資産の部	流動資産	48,258	44,691
	固定資産	10,273	14,092
	有形固定資産	4,425	4,027
	無形固定資産	463	405
	投資その他の資産	5,384	9,658
資産合計	58,532	58,784	
負債の部	流動負債	38,599	34,083
	固定負債	739	1,567
負債合計	39,339	35,650	
純資産の部	株主資本	19,550	20,453
	その他の包括利益累計額	△357	2,679
純資産合計	19,193	23,133	
負債純資産合計	58,532	58,784	

ポイント①
資産

売上債権などが減少したものの、投資有価証券の増加などにより、前期末比251百万円の増加。

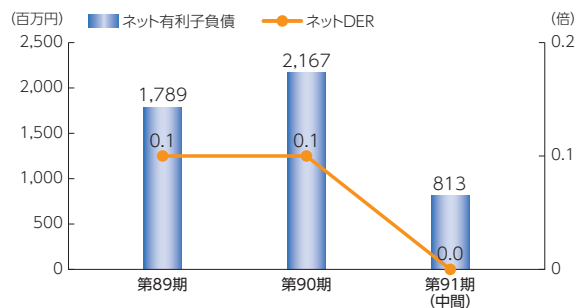
ポイント②
負債

仕入債務の減少などにより、前期末比3,688百万円の減少。

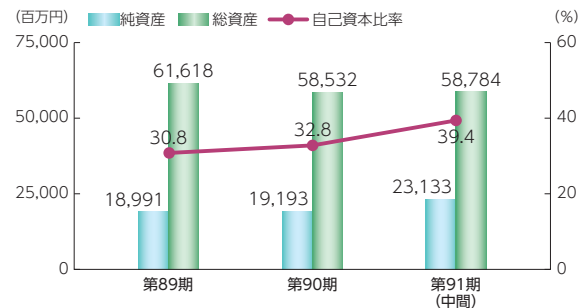
ポイント③
純資産

親会社株主に帰属する中間純利益による株主資本の増加や、当社の半導体関連の投資先である上海硅産業集団股份有限公司(National Silicon Industry Group Co., Ltd.)の上場にとまうその他有価証券評価差額金の増加などにより、前期末比3,940百万円の増加。

ネット有利子負債(百万円)／ネットDER(倍)



純資産(百万円)／総資産(百万円)／自己資本比率(%)



連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前中間期	当中間期
	2019年4月1日～ 2019年9月30日	2020年4月1日～ 2020年9月30日
売上高	56,642	55,958
売上原価	50,444	48,341
売上総利益	6,197	7,617
販売費及び一般管理費	5,583	5,316
営業利益	614	2,301
営業外収益	141	185
営業外費用	174	235
経常利益	581	2,252
特別利益	30	—
特別損失	0	370
税金等調整前中間純利益	612	1,881
法人税等合計	33	705
親会社株主に帰属する中間純利益	578	1,176

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前中間期	当中間期
	2019年4月1日～ 2019年9月30日	2020年4月1日～ 2020年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	737	1,787
投資活動による キャッシュ・フロー	△511	△66
財務活動による キャッシュ・フロー	△55	△54
現金及び現金同等物の 中間期末残高	12,517	13,500

ポイント④ 売上高

医療・衛生消耗品などの新たな需要にきめ細かに対応。また、ホビー関連商材の売上が伸長するも、新型コロナウイルス感染症の影響による繊維原料・生地取引の低迷などにより、前年同期比683百万円の減少。

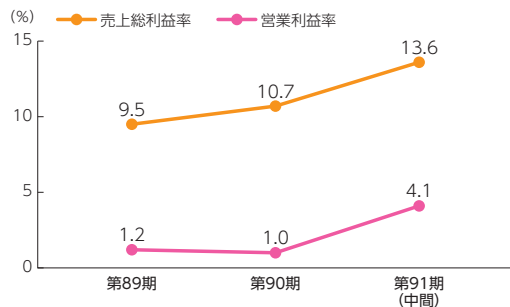
ポイント⑤ 営業利益

売上総利益率の改善および販売費及び一般管理費の減少により、前年同期比1,687百万円の増加。

ポイント⑥ 親会社株主に 帰属する中間純利益

特別損失に子会社資産の減損損失などを計上するも、営業利益の増加などにより、前年同期比597百万円の増加。

売上総利益率(%)／営業利益率(%)



当社ホームページ(IR情報ページ)のご案内

当社ホームページのIR情報のページでは、決算短信や有価証券報告書等のIR情報をご覧いただけます。より詳細な情報につきましては、下記のアドレスにアクセスくださいますようお願いいたします。

<http://www.gsi.co.jp/ir>

会社概要および株式の状況

■会社の概要 (2020年9月30日現在)

会社名	株式会社GSIクレオス		
本社	東京都千代田区九段南二丁目3番1号		
設立	1931年10月31日		
資本金	71億86百万円		
従業員数	675名(連結)		
拠点	国内 7ヶ所	海外	20ヶ所
連結子会社	国内 8社	海外	7社
ホームページ	http://www.gsi.co.jp		

■役員 の状況 (2020年9月30日現在)

取締役

代表取締役	吉永直明*	<監査等委員> 取締役 常勤監査等委員	荒木靖司
取締役	中山正輝*	社外取締役 監査等委員	早野貴文
取締役	大西文博*	社外取締役 監査等委員	加藤芳江
取締役	西村裕樹*		
社外取締役	服部和徳		

* 執行役員兼務者

執行役員

社長執行役員	吉永直明	執行役員	田村雄一
専務執行役員	中山正輝	執行役員	竹淵弘明
常務執行役員	大西文博	執行役員	浜野公義
常務執行役員	新美一夫	執行役員 (ナノテクノロジー事業専任)	柳澤 隆
執行役員	西村裕樹	執行役員 (自動車軽量化事業専任)	上村泰二郎
執行役員	小野国広	執行役員 (アパレル事業専任)	大賀浩司
執行役員	羽田 努		

■株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	6,464,971株 (自己株式197,254株を含む。)
株主数	7,361名

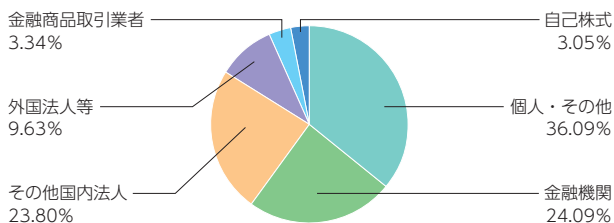
大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
グンゼ株式会社	932	14.87
日本生命保険相互会社	232	3.72
東レ株式会社	198	3.16
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	194	3.10
株式会社三菱UFJ銀行	189	3.03
株式会社みずほ銀行	189	3.03
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	147	2.36
株式会社北國銀行	136	2.17
JPMBL RE CREDIT SUISSE AG, SINGAPORE BRANCH COLL EQUITY	113	1.82
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	113	1.81

(注) 1. 当社は、自己株式を197,254株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率につきましては、自己株式(197,254株)を控除して算出し、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

株主構成(所有者別株式数の割合)



■株主メモ

証券コード 8101
上場証券取引所 東京
単元株式数 100株
事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
期末配当金 3月31日
受領株主確定日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法 電子公告
当社のホームページに掲載いたします。
公告掲載アドレス
<http://www.gsi.co.jp/ir/notice>
(ただし、電子公告によることができない
事故その他のやむを得ない事由が生じた
ときは、日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

「野村IR資産運用フェア2021」に出展します

当社は、2021年1月8日・9日にオンラインで開催される【野村IR資産運用フェア2021】「主催：野村インバスター・リレーションズ株式会社」に出展いたします。ぜひ、ご覧ください。

株主優待制度を新設



株主の皆さまの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々に当社株式を保有していただくことを目的として、株主優待制度を新設いたしました。

対象となる株主様

9月30日（基準日）現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式100株（1単元）以上を保有されている株主様。

株主優待の内容

保有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	QUOカード 1,000円分
1,000株以上	QUOカード 2,000円分

贈呈の時期

12月初旬に中間株主通信と併せて発送いたします。

GSI Creos

